



2019.06.27
香川大学教育学部附属坂出中学校
1年団通信～7月号～

学年愛『あい』×3 ～思いあい・I(自分)・あいさつ～



「附属坂出中学校オープンスクール」

〔総合学習CAN中間発表〕

6月16日(日)のオープンスクールの午前中に総合学習CANの中間発表がありました。異学年のクラスターが完成してから現時点までの、さまざまな探究活動をおこなったまとめを、生徒同士や保護者のみなさんに発表しました。



〔親子セミナー講演会〕 演題「地域によく生きる」講師 社会福祉法人ラーフ 理事長 毛利公一さん (生徒の振り返りより)



〔講演を行う毛利公一さん〕

- 話をきいて、自分が情けなくなりました。私はこれから、いろんなことにふれて、体験していきたいと思います。そして、最期のときに、自分によくやったと言える人生にしたいです。
- 講演をきいて、一番心に残った言葉は「ピンチをチャンスに変える」という言葉です。私も、もうだめだと思っても、その時1度たえてがんばれば、チャンスに変わる可能性があると思いました。
- 今日の講演をきいて、夢や目標を語ることによって、アドバイスや支援をしてくれる人ができて、自分の夢を応援してくれる人が増えることが分かった。壁に挑戦して本気で生きなきゃいけないと思いました。

保護者のみなさまへ

平素より、本校教育活動へのご理解、ご協力たいへんありがとうございます。7月は気温や湿度がさらに高くなり、総体やコンクールに向けて部活動の時間も長くなるため、お子さまの疲労もたまりやすい時期になります。お子さまがご家庭で、十分な睡眠や休養ができますよう、ご協力をお願いします。

また、7月17日(水)と18日(木)には三者懇談会があります。ご家庭や学校でのお子さまの様子をお互いに情報交換できればと思っておりますので、ご足労をおかけしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。